

科目	レクリエーション実技Ⅱバドミントン	担当	長澤 省吾	履修学年	4年
時間数	90分×時限×16回(週1回)	履修区分	選択	単位数	1単位

【授業目標・到達目標】

生涯スポーツの目指すところは、「誰もが、それぞれの体力や年齢、技術、興味、目的に応じて、いつでも、どこでも、いつまでもスポーツに親しむことのできる社会」を実現することにある。ここでは、単に勝敗を競うスポーツだけでなく、本来の遊びを基本とした楽しいスポーツ経験が求められる。この授業では、より広い領域のレクリエーション・スポーツを楽しみながら学習する事を目的とする。

【履修注意】

原則として、欠席回数(含公欠)は3回までとする(遅刻・早退・見学は0.5回とみなす)。レクリエーションスポーツではあるものの、指導者としての育成も兼ねて授業を展開する。本科目は教職課程(保健体育)に対して必修科目であるため、教職課程(保健体育)希望者は必ず履修すること。

【評価方法】

実技への取り組み内容および習熟度について、総合評価する。

【試験について】

実技試験

再試験対象者の条件：再試験は実施しない。

【予習・復習】

学修時間は1単位45分が文部科学省指針である。本科目は1単位科目なので90分の講義に対して45分以上の自宅学習(予習、復習)が必要である。

【教科書】

必要な時に随時プリントを配布する。

【参考書】

【その他の注意事項】

【授業計画・内容】

回数	項目	内容
1	オリエンテーション	ガイダンス・バドミントンの基礎講義
2	導入	ラケットとシャトルで遊ぶ・ラリーを続ける
3	ストローク	オーバーヘッドストローク・ハイクリア
4	各種フライト	ハイクリア・ドロップ・カット・ドライブ・プッシュ
5	基本動作1	縦の動きのフットワークを使ったフライトの練習
6	基本動作2	横の動きのフットワークを使ったフライトの練習
7	基本動作3	縦の陣形(トップ・アンド・バック)
8	基本動作4	横の陣形(サイド・バイ・サイド)
9	簡易ゲーム1	陣形の入替を練習
10	簡易ゲーム2	陣形の確認とストロークの練習
11	審判法	簡易ゲームにおいて審判法を実施
12	ゲーム1	シングル・ダブルスにおける審判法の確認
13	ゲーム2	シングル・ダブルスにおける陣形の確認
14	ゲーム3	リーグ戦によるゲームの展開
15	ゲーム4	リーグ戦によるゲームの展開
16	まとめ	技術の確認・評価